

令和8年度「港北 水と緑の学校」広告協賛企業が決定しました！

港北区では、環境活動や防災活動が継続的に地域に根付くことを目指し、希望する区内の市立小学校を対象に、鶴見川流域の自然環境と防災等について学習する体験型講座「**港北 水と緑の学校**」とその活動内容の展示会を実施しています。

今年度、事業内容に賛同いただき、広告協賛をいただく6社が決定しましたのでお知らせします。

令和8年度「港北 水と緑の学校」広告協賛企業の皆様



株式会社富川写真



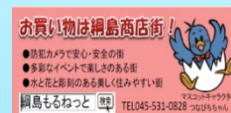
株式会社横浜アリーナ



ウスイホーム株式会社



株式会社ウチムラ



網島商店街協同組合



NOSIGNER株式会社

令和8年度の開催予定

▶講座 令和8年12月末までに14回程度実施

▶展示会 令和9年2～3月頃に計1か月程度開催

(令和7年度展示会実績)

- ・令和8年2月1日～16日 地域防災施設鶴見川流域センター
- ・令和8年2月21日～26日 トレッサ横浜北棟2階スタジオアリス前
- ・令和8年3月2日～13日 港北区役所

※展示会の詳細日程は広報等に掲載予定

港北区
ウェブサイトはこちら



裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



「港北 水と緑の学校」とは

- 港北区の中央部を西から東に流れる鶴見川は、町田市上小山田町に源流を発生し、横浜市鶴見区生麦で東京湾に注ぐ約42.5kmの河川であり、かつて大雨のたびに氾濫を繰り返したことから「暴れ川」と呼ばれ、急速な都市化による水質悪化も深刻でした。
- 1980年頃から流域一体となった治水対策や水質改善が進み、現在では鶴見川流域でたくさんの人々と共に、さまざまな生きものが暮らしています。
- 鶴見川に詳しい民間事業者を講師とし、魚とりや生きもの観察等を通じて自然環境を大切にすることを養うとともに、流域の治水対策を学ぶことで、小学生が地球温暖化対策・脱炭素社会についても考える機会となっています。
- 年度末には、学習した成果を発表する展示会を開催することで、地域における環境防災や地球温暖化対策・脱炭素社会の意識向上につなげます。



令和7年に参加した小学校の声

(児童) 川にウナギの赤ちゃんがいてびっくりしました！

(先生) この講座をきっかけに子どもたちが意欲的に鶴見川について調べるようになりました！

(児童) 楽しくて生きものが好きになりました！自然を守りたいと思いました！



お問合せ先

区政推進課長 萩原 Tel 045-540-2220



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

